

# ハンドボール

特集

## 第64回国民体育大会

# 12

5

DEC.2009・No.506



[表紙写真：第64回国民体育大会少年男子の部で優勝した福井県・杉本翔選手・撮影・石坂洋介]

財団法人 日本ハンドボール協会

<http://www.handball.jp/>



**molten**<sup>®</sup>  
For the real game



# For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

日本リーグ唯一の公式試合球  
全日本実業団連盟主催大会  
唯一の公式試合球

H312 ヌエバ 国際公認球 検定球

縫い・人工皮革、3号球、ラテックスチューブ

H212 ヌエバ 国際公認球 検定球

縫い・人工皮革、2号球、ラテックスチューブ



[www.molten.co.jp](http://www.molten.co.jp)

株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川五丁目5-7

# すべては最善のために



(財)日本ハンドボール協会常務理事 (強化本部長) 西窪 勝広

「アジアNo.1に返り咲く」をテーマとして、2009年度をスタートし半年が経過しました。2016年東京オリンピック開催の夢は消えましたが、強化に関しては休むことなくロンドンオリンピックに向け走り続けています。

NTS一貫指導体制による選手発掘活動は再構築ができました。又JHAアカデミーも各都道府県協会の強化担当の方に参集いただき、アカデミーの基本方針を説明いたしました。アカデミーキャラバン隊もスタートし、選手発掘に注力し、選手個々の強化にも努め、アカデミー生より男女日本代表にリストアップされるなど、徐々にではありますが成果が現れてきています。引続き、キャラバン隊を全国展開できる組織づくりを早急に進める必要性を感じており、そのためには強化スタッフの育成も重要な課題です。

又、JOC等からの様々なイベントの連絡は非常に重要です。すべてが強化に繋がる内容であり強化スタッフが参加可能な環境作りにも最善を尽くしていきます。

現在は、国、JOC、totoからの多額の助成金により強化が可能になっていますが、この現状を認識し取り組んでいかなければ、強化の助成金は減額されていく可能性も十分あります。その意味でも強化本部が最善を尽くし、強化スタッフと共に模範を示すことが重要であります。

「言うは易し 行うは難し」ではなく「アジアのチャンピオンになるのだ」そして「オリンピックに出場するのだ」と、強化スタッフ全員が強い意志を持ち、情報を共有し精進していくことが大きな目標の必達に繋がると確信しています。

勿論、現場の強化だけでは前に進むことはできません。審判部や技術委員会とも情報を共有し、アジアの分析や情報収集にも最注力していきます。

男女日本代表を筆頭に、各スタッフが必死に強化に努めてくれています。

今後は各カテゴリーの事業計画・選手名簿も常に情報公開し、皆様にいつでも観戦いただける環境整備も進めてまいります。

12月には中国で女子世界選手権が開催されますが、ロンドンオリンピックに向けての前哨戦と捉え戦ってまいります。

ハンドボール関係者のお力をお借りし、大きな夢に向かい取り組んでまいります。

引続き、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。

トキめき新潟国体

# 第64回 国民体育大会 ハンドボール競技



〈成績〉

種別	優勝	2位	3位	4位	5位
成年男子	広島県	愛知県	佐賀県	埼玉県	京都府、茨城県、大阪府、熊本県
成年女子	熊本県	鹿児島県	広島県	茨城県	石川県、宮城県、大阪府、香川県
少年男子	福井県	山口県	宮崎県	秋田県	大阪府、岩手県、長崎県、神奈川県
少年女子	京都府	大阪府	香川県	愛知県	岐阜県、岡山県、熊本県、石川県

## 【総評】大会を振り返って

新潟県ハンドボール協会理事長 山川 博行

天皇陛下におかれましては、本年、御在位 20 周年をお迎えになりましたことを心からお喜び申し上げます。

第 64 回トキめき新潟国体ハンドボール競技が 45 年ぶりに 10 月 1 日の監督・代表者会議などの諸会議を皮切りに、競技は 10 月 2 日から 6 日までの 5 日間、新潟県の柏崎市、上越市、妙高市、刈羽村の 3 市 1 村の 6 会場で開催されました。ちなみに 45 年前の昭和 39 年も柏崎市で国体ハンドボール競技が開催されましたが、東京オリンピックと同年だったため 6 月に日程を変更して行われておりました。

開催地が離れている事で県協会の少ない競技役員の配置移動など新潟県協会国体部長には大変苦労をかけたし、新型インフルエンザによる影響も心配されましたが、無事大会を終えたことを報告いたします

柏崎市、刈羽村は 5 年前に中越地震、2 年前に中越沖地震の震災に見舞われ、莫大な被害を受け本国体開催、1 年前のリハーサル大会も中止になったのにもかかわらず、ぶっつけ本番で大会を開催し、大会運営に多大なご尽力を頂きました事に大変感謝しております。

2 度の大震災でお世話になった全国からのご支援に感謝とおもてなしの心で各県代表チームを迎えて本国体を運営していくという気持ちは新潟県の総意でもありました。妙高市でハンドボールの大会を開催するのは初めてでしたが、開催地の実行委員会にスムーズな運営を心掛けて頂き、ハンドボール不毛の地でしたが、ハンドボールの市になるような勢いが感じられました。

上越市の会場では体操競技が 1 日ハンドボール競技の日程に食い込んでしまい、10 月 2 日の体操競技終了後、夜を徹してハンドボール会場へ変更準備をしていただいたという事も県ハンドボール協会あげて感謝しております。

新潟県にとって大会結果は決して満足のいくような成績ではありませんでしたが、県民が実際に会場へ足を運んで試合を見て、大歓声でチームを応援しハンドボールの魅力に触れハンドボールを認識した事と、新潟県協会員が全国の指導者や選手と触れ合い、いろいろなプレーを見て勉強し、なおかつ大会を運営した事はこれからの新潟県協会にとってかけがえのない宝物を得た事と確信しております。

国体後の話ですが、ある市で体育館新築の話があり、国体を機にハンドボールの正規コートがとれる様フロアの大きさを考え直すとの話も頂いておりますし、ジュニアチームの立ち上げという話も頂いております。これこそが国体の真意と感じ、新潟県ハンドボール協会はこれからもハンドボールの普及、発展、強化に邁進していく所存です。

最後に大会運営の不備で各県のチーム選手、関係者にご迷惑をかけた事をお詫び申し上げますとともに、本大会の開催にご尽力いただきました(財)日本ハンドボール協会、北信越ハンドボール協会、新潟県、柏崎市、上越市、妙高市、刈羽村の各開催実行委員会、ボランティアに参加していただいた全ての皆様から感謝申し上げますとともに、2010 年の千葉国体の成功を祈願いたします。

## 戦評

## ■成年男子（決勝戦）

広島県 29 (16 - 11、13 - 10) 21 愛知県

成年男子決勝戦は、準決勝を1点差で競り勝って勝ち上がった広島県と、愛知県の日本リーグ勢対決となった。先行したのは愛知県。⑨武田の左45度からのカットインで先制する。しかし、広島県も⑤今井選手のポストシュートで追いつくと、愛知県が取ると広島県が追いつくという展開でゲームが流れる。この均衡を破ったのは広島県。7分⑨新選手の右サイドシュートで逆転に成功すると、堅い守りから相手の攻撃を止めて確実に得点を重ねて3点のリードを奪う。しかし、愛知県も②野村、④末松、⑨武田のミドルシュートで盛り返し、20分には1点差まで詰め寄るが、ここで⑨武田が2分間退場となる。広島県はこのチャンスを逃さず、⑥東長濱、⑩古家のミドルシュートなどでたたみかけてリードを4点差に広げる。23分愛知県はタイムアウトを取り流れを変えようとするが、広島県 GK の⑫松村が愛知県の速攻を2本続けて止めるなどの好守で食い止め、逆に広島県がリードを広げて、16対11と広島県が5点リードして前半を折り返す。

後半、追いつきたい愛知県は、カットから⑥熊谷の速攻で後半も先に点を取るが、ここから引いてしっかり守る広島県ディフェンスの前にミスを重ねたり、GK ⑫松村にノーマークのシュートを何度も防がれたりして得点を奪えず、逆に広島県が⑩谷村のミドルシュート、⑤今井のポストシュートなどで多彩に攻め15分までにリードを9点にまで広げる。反撃を狙う愛知県はタイムアウトを取り、再開後は⑩岸川の左45度からのミドルシュートや⑥熊谷の速攻からのシュートで連続得点をあげ追い上げムードを高める。しかし、ここから広島県がディフェンスを立て直し、粘り強く愛知県の攻撃を防ぎ、着実に得点を重ねて追いつかせない。愛知県も④末

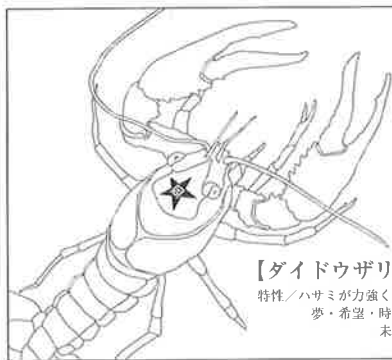
松の左45度からのスタンディングシュートなどで終了間際追い上げるが及ばず、広島県が29対21で逃げ切り栄冠を手にした。追いつけて勝負所で2分間退場を出してしまい追いつききれなかった愛知県に対して、GKを中心に粘り強く守り、巡ってきたチャンスを着実にものにした広島県の勝負強さが勝利へと導いた。

## ■成年女子（決勝戦）

熊本県 28 (10 - 10、14 - 14) 27 鹿児島県  
4 - 1、0 - 2

緊張感のある中で始まった決勝戦。熊本県対鹿児島県は、熊本県⑧石立のカットインシュートによって始まった。しかし、直後熊本県は退場者を出してチャンスになった鹿児島県は⑦高橋のサイドシュートで同点にする。オフェンス・ディフェンスともに激しいぶつかり合い。9分に鹿児島県⑥儀間がミドルシュートを決めると、4対3と両チーム一歩も引かない。熊本県はセンターに高いディフェンスを置き、鹿児島県のロング・ミドルシュートをことごとく止める。鹿児島県も固いディフェンス、キーパー①飛田の好セーブで、熊本県の得点を許さない。18分時点では6対5と、一進一退の展開になる。19分、鹿児島県⑤田中がステップシュートを決め同点にすると、すかさず熊本県はタイムアウトを取り、士気を高める。そして、熊本県④市村がディフェンスの裏を走りこんでのサイドシュートで逆転。その後、両チーム互角のすさまじい戦い。前半終了間際、熊本県⑩東濱のミドルシュートにより、10対10の同点。鹿児島県キーパーの好セーブが光った前半戦だった。

後半は、熊本県のスローオフで始まった。鹿児島県が⑦高橋のスカイシュート、⑨高栖のポストシュートを決めると、



【ダイドウザリガニ】

特性/ハサミが力強く、  
夢・希望・時代を掴む力に優れていて  
未来へ突き進む強靱な尾を持つ。

ツカムチカラ

大同には“ツカムチカラ”がある

大同特殊鋼

www.daido.co.jp

熊本県は⑩東濱のミドルシュート、③高田の速攻により応酬する。鹿児島県は、相手②藤井にマンツーマンディフェンスをつけ、攻撃を封じようとする。しかし、熊本県は、⑩東濱が3連続得点をあげると、9分③高田がシュートを決めるなど、流れは熊本県に。12分には19対17と2点差。その後、熊本県から退場者が出ると、それを機に鹿児島県⑥儀間がカットインシュートを決めるなど、20対20の同点になる。熊本県が得点を決めると、鹿児島県はクイックスタートですぐに取り返す。互いに素晴らしいディフェンス、スピードあるオフェンスと、見ごたえのあるプレーが続いた。22分から互いに決め手を欠き、得点がないまま試合が進む。28分過ぎに鹿児島県が、早い展開から⑨高栖がスカイシュートを決める。しかし、29分に熊本県は同点にする。残り13秒で鹿児島県はタイムアウトを取るが、鹿児島県のシュートは枠を外れ、24対24の同点で延長戦に突入する。

延長戦前半突入から、両チームとも早い展開。お互い1点ずつ決めると、熊本県③高田が3連続得点をあげ、28対25と流れをつかむ。後半、鹿児島県③長野がカットインシュートを決めると、続いて⑤田中も執念でサイドシュートを決める。1点差に詰め寄るが最後の決め手がなく、28対27で熊本県が優勝を決めた。

## ■少年男子（決勝戦）

### 福井県 34 (19 - 11、15 - 17) 28 山口県

開始早々、山口県⑩角田の速攻が両チームの初得点であった。対する福井県は⑤平子のカットイン、センターからのロングシュートで3分に同点とする。福井県は3-2-1のディフェンス、山口県は6-0のディフェンスで両チームとも堅固なディフェンスを展開する。また、福井県 GK ⑫角谷、山口県 GK ⑫田村がノーマークシュートを防ぎ、9分まで4対3で山口県がリードしたロースコアの試合が続く。その後、山口県⑥田中の速攻が決まり一時3点差に広げたが、福井県も④村田のシュートや⑩藤江のカットインプレーなど4連続得点で17分には8対7と逆転する。19分、福井県は1人退場の状況となったが、②杉本の45度からのサイドシュート、⑪大倉のポストシュートなどで逆に点差を広げることとなった。21分にタイムアウトをとった効果もあり、山口県③久保の45度からのロングシュートが決まる。しかし、福井県⑤平子のセンターからのロングシュートや②杉本の45度からのロングシュートが冴えわたり、19対11の8点差で前半を終えた。

後半開始早々、山口県が退場者を出し、福井県⑨林の速攻で差を広げる。山口県④三品や⑥田中のカットインプレーなど4連続得点で11分までに7点差までつめる。12分に山

口県が退場者を出したことや福井県④村田のディフェンスからの速攻が決まり、17分には10点差とする。山口県はオールコートマンツーマンディフェンスに切り替え20分に8点差までつめる、しかし、ディフェンスの隊形変化に適応し、福井県②杉本のセンターからのロングシュートや③柴山の45度からのロングシュートで反撃を許さない。山口県は③久保の12得点の活躍や、GK ⑫田村がノーマークのシュートを防ぐなどしたが、点差は縮まらず34対28で福井県が6点差で優勝した。

## ■少年女子（決勝戦）

### 京都府 28 (14 - 5、14 - 14) 19 大阪府

京都府⑧角南のセンターからのロングシュートで決勝の火蓋が切られ、その後も京都府④船越の速攻からのシュートなどで4連続得点をあげた。開始6分、大阪府③竹下のポストシュートが決まり反撃を開始。京都府は10分からシングルポスト、ダブルポストを駆使し、京都府⑤角南のポストシュート、速攻からの連続シュートで7対2と試合を優位に進めていく。6-0ディフェンスを立て直した大阪府と5-1ディフェンスが崩れない京都府と互いに我慢の続く中盤であったが、17分、大阪府⑨村尾がサイドからセンターに切れ込むシュートを決めた。さらに京都府が1人退場した機会を逃さず20分には大阪府は3点差につめた。21分、京都府⑧角南が7mスローを確実に決め、5点差のまま終盤を迎える。24分には大阪府が退場者を1人出した機会を生かし、京都府⑤角南がポストから、⑦田村がサイドからシュートを決める。大阪府はタイムアウトをとり再びディフェンスを立て直すが、京都府⑨眞継がサイドからシュートを決め、14対5の9点差で前半を終えた。

後半、京都府④船越が45度からカットインプレーやロングシュートを連続して決め主導権を渡さない。対する大阪府は、勝負どころで③竹下にボールを集め、④水田の速攻、⑦井野のポストプレーなどで連続得点をあげ、9点差のままとなる。10分から京都府は④船越、⑧角南のロングシュートで対抗する。直後に京都府は退場者1名を出すものの GK ⑫松本の好守や④船越の速攻でピンチをしのぐ。16分、大阪府⑧川島の速攻、⑥角南のカットインプレーで追うが、京都府⑧角南のロングシュートや④船越が45度からのロングシュートを決め、大阪府の追従を許さない。終盤、大阪府③竹下がポストからのシュートを決め最後まで勝負をあきらめず対抗したが、9点差のリードを保持した京都府が28対19で優勝した。



## 成年男子：広島県

### 国体を振り返って

広島県成年男子主将 福田 大樹

新潟県にて開催されましたトキめき新潟国体、第64回国民体育大会ハンドボール競技にて優勝を勝ち取ることが出来ました。

これも日頃からより良い環境でハンドボール活動ができるよう、ご理解・ご協力いただいている多くの皆様方の支えあっての賜物だと感謝しております。

今大会を振り返ると、6連覇のかかった埼玉県、実業団選手権大会優勝の大同特殊鋼単独チームの愛知県、昨年、3位決定戦で敗れた佐賀県と強豪が準決勝まで勝ち進み、苦しい展開になると誰もが予想しました。準決勝の埼玉県戦では序盤から1点を争う試合展開となりリードされましたが、集中力をきらすことなくなんとか食らいつき、1点差ではあるものの勝利することが出来ました。決勝戦では負傷者を出し苦しいチーム状況ではありましたが、いい意味で選手全員が開き直り、個人の役割をしっかりと果たした結果、粘り強いプレーとなり優勝を勝ち取ることが出来ました。私自身、主将となって初のタイトル、そして初の国体タイトルということもあり大変うれしく思っております。

国体は優勝しましたが、タイトルを一つ取っただけのことで、まだまだ通過点だと思っております。今回の結果に慢心することなく、今後も課題の地力アップ

と、精神面の強化に努め、残りの二つのタイトルを奪取できるようトレーニングに精進する所存ですので、今後とも変わらぬ御声援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、大会運営にあたりご尽力いただきました関係者の皆様、あたたかく見守っていただきました地域の皆様、本当にありがとうございました。



写真提供：スポーツイベント社



写真提供：スポーツイベント社



※2008年7月北海道羽路湖ルスツ村 国際メディアセンター前で撮影。積水ハウス関東工場のゼロエミッションセンターに移送されました。同時に経済産業省指定の【茨城県 次世代エネルギーパーク】として一般公開されています。

北海道洞爺湖サミットに建てた「家」、

## ゼロエミッションハウス

積水ハウスは、CO2排出量をほぼゼロにする住宅の販売を開始しております。地球と家族を守る家、「CO2オフの暮らし」、始めませんか。

省エネ + 創エネ = CO2オフ住宅

高断熱・気密仕様 燃料電池  
省エネ設備機器 太陽光発電システム

一戸建て・共同住宅・クラブハウスのご建築は、当社にお任せ下さい。

積水ハウス株式会社

川崎支店 玉川・溝口展示場

担当：早川 祐侍

TEL:044-829-4611

FAX:044-814-5411

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口5-24-5 (玉川・溝口ハウジングステージ内)

E-mailアドレス: hayakawa019@sekisuihouse.co.jp 公式ホームページ <http://www.sekisuihouse.co.jp>

国土交通大臣免許(13)第540号 国土交通大臣許可(特-17)第5295号

SEKISUI HOUSE

積水ハウス エコ・ファースト企業

## 成年女子：熊本県

### 国体を振り返って

熊本県成年女子主将 坂元 智子

第60回国民体育大会で2年ぶり、12回目の優勝を飾ることができました。

この優勝は私達の力だけではなく、影で支えてくださる方々や応援して下さる沢山の方々のお陰だと、心より感謝しています。

今大会に臨むにあたり、9月に開幕した日本リーグでの開幕戦、第4戦の敗戦など、チーム状況は良いといえるものではありませんでした。

そんな不安を抱えたまま新潟に乗り込んだのですが、チーム全員が危機感をもち、試合に臨んだことが優勝という結果に繋がったのだと思います。

また、今大会チームとして「攻守にわたり攻める意識」、「基本行動の徹底」をテーマに、全員がこれを徹底したことが大きな勝因だったのではないかと感じています。

試合内容としましては、準々決勝から決勝まですべてが1点差、決勝では延長までもつれこむという本当に苦しく辛い

戦いでしたが、全員が勝ちたいという気持ちを心と体で表現し、粘り強い戦いができたと同時に、1点の重みを感じさせられる試合でした。

自分自身、試合終了のブザーが鳴った瞬間、緊張感から解放され嬉しいという気持ちはもちろんですが、疲れた…というのが正直な気持ちでした。

これから日本リーグ・総合選手権と続きますが、今大会の優勝を自信としチーム一丸となり頑張っていきたいと思いますので、ご支援・ご声援をよろしくお願い致します。



写真提供・スポーツイベント社

OSAKI 



**mind**

豊かな明日を切り開く、大崎マインド。



限られた資源だから、有意義に使っていきたい。  
 命あるものが共存する地球だから、  
 快適な環境を守っていきたい。  
 計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、  
 ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、  
 つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)



## 少年男子：福井県

### 新潟国体を振り返って

福井県ハンドボール競技総監督 志々場 修二

10月2日～5日まで、新潟県で開催されました第64回国民体育大会におきましては、秋田国体に続き2回目の優勝という最高の結果で大会を終えることができました。大会運営に尽力されました関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年は、春の選抜大会で昨年に引き続き優勝できたものの、インターハイでは、春の決勝相手、興南高校に大差で敗れ、悔しい思いをしました。3年生にとっては、最後の大会となる本国体では、初戦から、本来の力を十分発揮し、2年ぶり4回目の決勝へ進むことができました。決勝では、山口県との戦いとなり、前半こそリードを許す場面があったものの、得意の連続速攻で、相手を突き放し、国体では2度目の優勝することができ、春の選抜と合わせ2冠を獲得することができました。

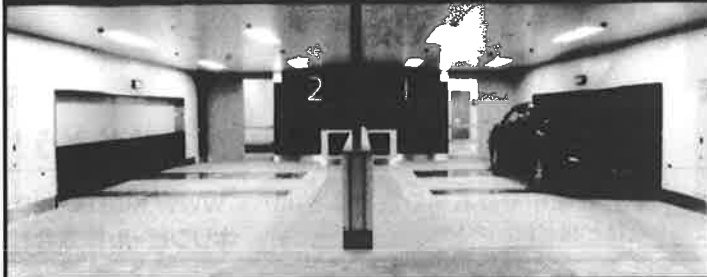
最後になりましたが、日頃からご支援、ご協力いただいております県体育協会ならびに県ハンドボール協会の皆様方に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



大規模・高速・高効率

IPS

三菱重工パーキング



インテグレートッド  
パーキング  
システム

三菱立体駐車場

三菱重工パーキング株式会社

〒220-8401 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 TEL.(045)200-7518

## 少年女子：京都府

## 国体を振り返って

京都府少年女子（洛北高校主将） 角南 涼

第64回国民体育大会において、優勝することができ本当に嬉しく思っています。ご支援を頂きました皆様、会場まで足を運んでくださいました方々に感謝いたします。本当に有難うございました。

選抜大会、インターハイと負け続け、ここまでの道は本当に苦しく簡単なものではありませんでした。「自立」することができず、何度も壁にぶつかる日々でした。ですが、たくさんの経験をし、楠本先生はじめ多くの方々に指導して頂いて、常に前を向いて、一試合、一試合重ねるごとに自信へと変えることができました。

愛知選抜、大阪選抜と、春夏のリベンジのチャンス頂き、試合では、「守って速攻」という自分たちのハンドボールをすることができました。今までにはなく、試合を楽しむことができました。

負けることの悔しさ、勝つことの喜び、楠本先生には、ハンドボールだけでなく、人として大きくなることを教えて頂きました。3年間、楠本先生の下でハンドボールができ、たくさんのことを学ばせて頂き本当に良かったです。有難うございました。楠本先生、大好きです。

私たちは、ここで終わりではないので、今大会での反省点を踏まえ、一人一人がもっと成長し大きくなれるよう、これからも自分の道へと向かって頑張っていきます。

最後になりましたが、今大会で運営して頂いた大会関係者の方、会場で声援を頂きました皆様、そして私たちを支えてくださった全ての方々に感謝いたします。これからもご支援、ご指導よろしく願いいたします。本当に有難うございました。

写真提供：スポーツイベント社



# KIRIN

スポーツの感動を、ありがとう!



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく、ほどほどに。

www.kirin.co.jp  
キリンビール株式会社